



2024年5月8日

各位

会社名 株式会社KHC
代表者名 代表取締役社長 渡辺 喜夫
(コード番号:1451 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営企画部長 青木 渉
(TEL. 078-929-8315)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年5月8日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値の差異について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,502	550	476	307	77.42
今回発表実績(B)	10,062	574	532	355	89.17
増減額(B-A)	△ 1,440	24	55	47	
増減率(%)	△ 12.5	4.5	11.7	15.6	
(参考)前期実績(2023年3月期)	11,047	602	549	356	89.70

※金額単位未満は切り捨て表示

(2) 差異の理由

期首の受注残減少に起因する売上高の減少は、織り込み済みであったものの、依然として厳しい受注環境を背景に、当期における受注残の積み上げ不足が想定を上回ったこと等により、注文住宅に係る売上高が大幅に減少いたしました。また、注文住宅の受注不振の影響等により、建築条件付き土地の販売が振るわず、引渡区画数が計画比大幅減となった分譲用土地に係る売上高も大幅に減少しております。

一方、足元の建売市場における需給バランスが悪化している中、高い設計力を駆使した上質な建売住宅の提供に注力したことが功を奏し、引渡棟数が、計画比で若干の減少となったものの、前期に比べて大幅な増加となり、建売住宅に係る売上高は、計画を下回るものの前期比大幅増となり、利益の底上げに寄与いたしました。

以上のとおり、売上高が前回発表予想を大幅に下回る結果となり、これに伴う影響はあったものの、価格転嫁による原価率の改善が前回発表予想における見積もりを上回ったことで、注文住宅における減益幅が縮小したことに加えて、建売住宅における利益の底上げや、広告宣伝費などの販売費及び一般管理費の減少等もあり、利益面におきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、それぞれ前回発表予想を上回る結果となっております。

※ 2024年3月期の通期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」をご参照ください。